障害児相談支援費及び計画相談支援費の算定誤りについて(お詫び)

障害児相談支援費及び計画相談支援費の算定誤りが発覚し、自主返還等の対応が必要となりました。

利用者の皆様をはじめ市民の皆様に対しまして、ご心配をお掛けしますことを心から深くお詫び申し上げます。なお、現在決定している受給者証及び利用計画は有効であるため、利用者様には引き続きサービスをご利用いただけます。また、相談支援事業についても継続いたします。

1. 概要について

当センターの相談支援部門では障害児通所支援や障害福祉サービスを利用するために必要な障害児支援利用計画・サービス等利用計画（以下：障害児支援利用計画等）を作成しています。その報酬として伊丹市より受領することができる障害児相談支援給付費及び計画相談支援給付費の請求時に算定誤りがありました。

2. 算定誤りの内容

「利用者の居宅への訪問」などを行うことが必須であるところ、当センターでは、利用者様の意向も伺いながら、当センター等での面談などで対応していました。

3. 算定誤りの件数及び額

返還対象期間：令和元年9月～令和6年8月

返還件数：3,366件 返還総額：71,530,079円

利用者様から利用料の徴収を行うことや利用者様への返金等はありません。

4. 今後の相談体制および運営等について

令和7年度以降は、障害者手帳を保持している児童等（※）やサービスを初めて利用される方に対して居宅への訪問実施等の算定基準に則した障害児支援利用計画等を作成します。

それ以外の方に対しては、従来通り事業所の利用や発達に関する相談などの基本相談への対応を行います。また、受給者証の更新時等に必要な計画については保護者等が作成する利用計画「セルフプラン」の支援を行い、福祉サービスの利用に支障のないようにいたします。

（※）身体手帳1級、2級、療育手帳A・B1の所持者・医療的ケア児・保護者が手帳保持している方等。

5. その他

こども福祉課では、保護者等が作成する利用計画「セルフプラン」を受理するよう対応の変更をします。取り扱いの変更に関するご案内（障害児支援利用計画等の保護者作成用新様式など）の詳細については、更新の事前案内文書とあわせて、こども福祉課より保護者にお知らせする予定になっています。（令和7年4月以降順次）。

当センターでも、計画の更新時等に保護者に個別に説明いたします。

何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

以上